

九月二十二日

十時研究室。若干のオペレーション。昼食は西谷先生とソバ屋ですきやきうどん。小泉首相人事についておしゃべり。西谷さんは明後日より、しばらくシカゴなので、うらやましい限りだ。半年の在外研究で顔も晴れ晴れしている。

九月二十三日

朝、ゆっくり新聞に目を通す。昨夕の朝日新聞だったかに、亡くなった倉本四郎さんの大きな囲み記事が出ていた。書評家としてスタートされ最近では作家として活躍し始めていた。私も二、三度本を取り上げていた。バラック浄土からの附合いであった。葉山にも呼ばれて行って、痴呆性老人介護施設の建設反対の片棒かつぎまでさせられた憶えがある。建築家なのに建設反対の片棒をかつがせるとは流石に倉本さん、勘がいいなと思ったりもした。その際の集会での私の弁論は仲々さえていたと自慢できるものだった。俺は建設よりも非建設の方に向いているなど自覚しながら会場に居た。その会の後で呑んだ倉本さんに、アナタたちは運動には向かない、素人だと大言壮語して、明るく口惜しがらせたのも懐かしい。それ以来お目にかかっていない内に突然亡くなられた。どんどん血も情もある友人達が居なくなる。血も情もは我ながらいささか古いが、そうとしか言い様が無い。

九月二十四日

十二時十五分ホテルニューオータニ。シャープ・デザイン・コンペ表彰式。磯崎さん、喜多俊之さん等と出席。十五時半終了。式後磯崎さんとお茶。批評と理論の連続シンポジウムのまとめに關して。色々なアイデアを話し合う。十七時過ニューオータニ発。研究室へ。二件程打ち合わせ。十九時迄。